

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(内野小

) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

見守りボランティアの拡充

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- いじめ防止等の基本方針や具体的な施策について説明を受け、不登校やいじめ被害の状況を確認でき、委員が共通認識できた。
- 学校と地域のつながり方や関わり方について、地域の中で協力できることなど明らかになった。
- 委員の意見等を聞き、問題点や現状を知ることができた。解決に至る意見(策)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 市や子供会等でも見守りボランティアの拡充としてチラシの配布を行っているが、もう少し範囲を広げてどういった場所や方々へ働き掛けをしたらよいか熟議ができたと思う。
- 見守りボランティアの拡充を検討し、各家庭と学校、地域のつながりを大切に考えることができた。
- 本年度の目標について十分な議論はできたと思うが、地域の方々へさらなる案内が継続して必要だと感じた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 初めてCS便りを発行した。有言実行するよう行動したが、話し合う時間をもてばさらによかった。
- 本年度としてであれば、十分な発信ができたと思う。R7年度においても、PTA活動や地域行事等のタイミングで積極的な案内を継続していく必要があるとも感じた。
- 学校からの発信はあるかと思われるが、協議会自ら発信することも大事であるとの意見が出た。今後の課題である。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 見守りボランティアの拡充を具体的に、どのように広げていくのか明確にしたい。
- 学校支援活動の充実について検討
- 運営協議会の活動PR(より知ってもらうための発信)
- いろいろな分野のボランティアを充実させたい。